

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 宮原教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで人数が多い時は、グループ分けをし、運動量が確保できるように工夫している。壁にマットを置いて衝突防止にも努めている。	
	2	職員の配置数は適切である	体制は整っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	子どもたちにわかりやすいよう、自動扉等危険な箇所は視覚に訴える為イラストやポスターを貼って知らせている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	療育後、清掃・消毒行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	自己評価アンケートを実施し、業務改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	本年度から新規起ち上げた教室の為、今期の集計分から公開する。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部研修を行っている。内部に比べると頻度は下がるが、外部研修も受ける機会を見つけて極力参加している。	
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	フェイスシートなどを参照に日々の変化を記録し、児童発達支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	アセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	発達支援に重点を置き、中でも自立支援・運動・創作・感覚統合・他者への関わりを目的とした個別療育、集団療育を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	支援計画に沿って運動プログラムや支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	年間計画を作成し、活動プログラムは複数の職員が担当している。ミーティング時に複数の職員で話し合いながら、児童の特性に配慮したプログラムを作成している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 宮原教室

へ 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	利用者の課題やご希望等も取り入れる等工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1人1人の目標に沿った計画を立案している。契約日以外でも適したクラス(個別療育、集団療育)があれば事前に案内している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	各職員で役割分担をしている。支援の内容は毎日朝礼時に指導員全員でミーティングをして打ち合わせを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出し、次の支援につなげている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎日、利用者ごとにその日の支援に関して記録・検証しているが、よりよい改善策を提案できるよう努めていく。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的なモニタリング・保護者との面談を実施している。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	コロナの影響もあり、通信機器を用いて参画している。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		今後必要に応じて検討していく。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様が通所していないが、今後受け入れる場合は、関係機関との連携体制は整えていく予定。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	小学校や園と情報共有・相互理解を図っている。	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	小学校や園と情報共有・相互理解を図っている。	
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	保護者を通じて他事業所の発達検査の結果を頂いて情報共有している	
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		今後必要に応じて検討していく。
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		今後の開催時には参加予定。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 宮原教室

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。また、随時保護者からのご意見ご要望に対応できる体制を保護者へ周知している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	特別には行っていないが、面談や日々の振り返りの中で子どもへの対応の相談・助言を行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時にその都度している。支援の内容も詳しく説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	初回利用時に同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者の方からの悩み等に関する相談は指導員や児発管が悩みを聞き出すように声を掛けて助言や支援を行なっている。一人の判断で回答出来ない時はミーティングを行い回答するように心がけている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		父母の会や保護者会の開催に至っていないが、今後必要に応じて検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	速やかに対応するように心がけている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は発行していないが、必要に応じてお知らせを配布したり、季節のイベントをLINEアプリ等で発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料は、鍵のかかる書庫で保管し、破棄の際はシュレッダーに掛けている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	一人一人の特性や障害に応じて配慮をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
	非常	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	訓練を実施している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	地震や火災等非常事態を想定した避難の訓練を実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約の際に保護者の方にフェイスシートを記入いただき、職員間で情報共有をしている。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 宮原教室

時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	サービス提供時間内に食事の提供はしていないが、食物アレルギーなど保護者から聞き取りし、全職員に周知している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット事例集を作成し、共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止の資料をもとに内部研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 宮原教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	4	1	0	使う道具のバリエーションがあるといい。	今ある道具を最大限に活用し、道具の組み合わせ等から更にバリエーションを増やせるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1	0	2	・あまり活動が見られないので分からない。 ・職員の専門性はどこで確認できるのか分からない。	法令通りの人員を配置しております。専門性につきましては重説に経歴、資格が記載してありますがより伝わりやすいように努めてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	1	0	2	送り迎えでしか入らないからどうなっているのか分からない。	玄関の段差やフロアの段差などはございません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	0	0	1	いつもきれい。	毎日フロアと器具の清掃、消毒を徹底しております。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	25	1	0	2		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	2	0	3	・丁寧に指導して本人のできない事ができるようになり感謝している	嬉しいコメントありがとうございます。今後も子ども達が楽しめるよう努めてまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24	1	0	3	あまり活動が見られないので分からない。	お子様が楽しみながら成長できるプログラム・教室づくりを考案・実施しております。Instagramアプリ等でお知らせもしてまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	10	10	保育園に通っている。	今後必要とのお声が高まりましたら、検討してまいります。
保護者へ	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	25	1	0	2		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	7	3	10	・毎回丁寧に説明頂いている。 ・保護者に対しては活動の振り返りがメインであり、特に褒め方を学んだと感じない。 ・頼んでいないので大丈夫。	フィードバック時等でお子様その日に興味関心があったことや取り組み方が変わったアプローチが共有できるよう努めてまいります。また、ご相談がございましたら、お声がけください。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25	1	0	2		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	4	1	5	・入所して間もないため面談していない。 ・行っているか分からない。	更新時の面談以外でも、保護者様と面談することは可能でございます。ご希望がございましたら、お知らせください。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 宮原教室

の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	12	10	・あると嬉しい。 ・開催されているか分からない。 ・親子参加型のイベントはあり。	現在、父母の会の支援や保護者会などは行っておりません。保護者様のお声が高まりましたら、検討してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	3	1	4	面談や相談の申し入れをしたことがないので分からない。	面談することは可能でございます。何か気になることがございましたらお話しいただければと思います。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	2	0	2		フィードバック時等で他の人との距離感や言葉遣い、物の言い回し等、より一層配慮し、今後ご利用者様に寄り添った教室運営に努めてまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	4	1	10		今後も保護者様にLINEアプリや書面にて行事予定や活動報告を行ってまいります。またTAKUMIではInstagramアプリも取り入れておりますので、興味がある方はぜひご覧ください。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	0	0	3		
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	26	2	0	0	避難場所の連絡はもらっている。	非常事態に備えた避難訓練をお子様とともに定期的に行っております。今後もしっかりと行っております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27	1	0	0		
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	4	0	1	・いつも楽しみにしている。 ・行きたいと言っている。 ・行き渋りはあるが楽しく活動に参加している。	嬉しいコメントありがとうございます。今後もお子様が楽しんで成長できるプログラム・教室づくりに努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	26	1	0	1	・楽しく通っている。 ・見ている回数が少ないのでわからない。	嬉しいコメントありがとうございます。今後もお子様が楽しんで成長できるプログラム・教室づくりに努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名

TAKUMI 宮原教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで人数が多い時は、グループ分けをし、運動量が確保できるように工夫している。壁にマットを置いて衝突防止にも努めている。	
	2	職員の配置数は適切である	体制は整っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	自動扉等危険な箇所は、子どもたちにわかりやすいよう視覚に訴える為イラストやポスターを貼って知らせている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	自己評価アンケートを実施し、業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	本年度から新規起ち上げた教室の為、今期の集計分から公開する。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部研修を行っている。内部に比べると頻度は下がるが、外部研修も受ける機会を見つけて極力参加している。	
適切な支援の担	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	フェイスシートなどを参照に日々の変化を記録し、児童発達支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	アセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	年間計画を作成し、活動プログラムは複数の職員が担当している。ミーティング時に複数の職員で話し合いながら、児童の特性に配慮したプログラムを作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	利用者の課題やご希望等も取り入れる等工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	当事業所は、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりがないため、基本同じ内容、流れで実施している。長期休暇期間にはイベントを実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1人1人の目標に沿った計画を立案している。契約日以外でも適したクラス(個別療育、集団療育)があれば事前に案内している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名

TAKUMI 宮原教室

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	各職員で役割分担をしている。支援の内容は毎日朝礼時に指導員全員でミーティングをして打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出し、次の支援につなげている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎日、利用者ごとにその日の支援に関して記録・検証しているが、よりよい改善策を提案できるよう努めている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	定期的なモニタリング・保護者との面談を実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	ガイドラインの重要性、必要性を伝えており、総則通り行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	コロナの影響もあり、通信機器を用いて参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	情報共有は行っていないが、学校のホームページや保護者を通して情報収集をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		当事業所には、医療スタッフが存在しないこと、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受け入れる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	他事業所の情報は契約時に保護者からいただいている。その他の関係機関とは、今後希望があれば随時検討・対応していく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		卒業生がいらないため実績はまだないが、今後必要に応じて検討していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	保護者を通じて他事業所の発達検査の結果を頂いて情報共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		今後必要に応じて検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		今後の開催時には参加予定。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名

TAKUMI 宮原教室

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。また、随時保護者からのご意見ご要望に対応できる体制を保護者へ周知している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	特別には行っていないが、面談や日々の振り返りの中で子どもへの対応の相談・助言を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時にその都度している。支援の内容も詳しく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者の方からの悩み等に関する相談は指導員や児発管が悩みを聞き出すように声を掛けて助言や支援を行なっている。一人の判断で回答出来ない時はミーティングを行い回答するように心がけている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		父母の会や保護者会の開催に至っていないが、今後必要に応じて検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	速やかに対応するように心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は発行していないが、必要に応じてお知らせを配布したり、季節のイベントをLINEアプリ等で発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	個人情報と思われる資料は、鍵のかかる書庫で保管し、破棄の際はシュレッダーに掛けている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	一人一人の特性や障害に応じて配慮をしている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		現在特になしていないため、今後必要に応じて検討していく予定。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	各マニュアルは作成済みだが、保護者への周知は不十分であると考えられるため、今後周知活動をしていく。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	地震や火災等非常事態を想定した避難の訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止の資料をもとに内部研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 宮原教室

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	サービス提供時間内に食事の提供はしていないが、食物アレルギーなど保護者から聞き取りし、全職員に周知している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット事例集を作成し、共有している。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 宮原教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	7	2	0	・整理されて動きやすい。 ・工夫して運動に取り組んでいて有難い。 ・運動するには狭い。 ・運動するならもっと広くても良い。	限られたスペースではありますが、今後も安全面に十分に配慮し、怪我がないよう努めて参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	2	0	7		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	26	0	0	0		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	26	0	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	6	14		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	0	1	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	1	0	0	まだ入ったばかりで分からない。	面談は更新時等定期的に行っておりますが、何か気になることや不安な点がございましたら、職員にご相談ください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	4	7	10		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	2	0	6	苦情がない。	面談は更新時等定期的に行っておりますが、何か気になることや不安な点がございましたら、職員にご相談ください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	2	1	0	待合スペースがないから面談以外で話すのは難しい。	面談は更新時以外でも行うことが可能です。ご希望でしたらお声がけください。また、フィードバックは場所や声の大きさ、内容等配慮させていただきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	1	0	1		
14 個人情報に十分注意しているか	26	0	0	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	1	1	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	1	0	0	まだ入ったばかりで分からない。	定期的に災害時の避難訓練を実施しております。今後も開催を予定しています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 宮原教室

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	25	1	0	0	とても楽しそうに参加している。	嬉しいコメントありがとうございます。今後もお子様が楽しんで通所していただけるよう努めてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	26	0	0	0	今日できたことが自信につながっていて親として助けられている。	今後も引き続きお子様に楽しみながら成長していただけるようなプログラム・教室づくりを、職員一同努めてまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。